

八王子 ぐらしのレポート

(令和4年)
2022
7月

八王子市消費生活啓発推進委員会レポート

特集

2022 八王子環境フェスティバルに出展しました！

6月5日(日)、八王子環境フェスティバルがJR八王子駅北口西放射線ユーロードと南口とちの木デッキにて3年ぶりに開催されました。雨上がりのため蒸し暑くなった上きびしい日差しのなかでしたが、マスクをして大勢の方が来場しました。消費生活啓発推進委員会は中町公園前に出展。

持続可能な開発目標(SDGs)を2030年までに達成させるには、市民の方々の行動が大切になります。

「消費生活に関することで市民が工夫できることは何か」を委員会で話し合うなかで、行動するSDGs17の目標のうち、右の表の5つの目標が大きく関わっていることが見えてきました。そのような視点から出展準備をしてきました。

SDGsとは2030年に達成したい17の目標

17の目標のうち、消費生活に関することで、

市民が工夫できることとして、5つをあげました。

7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12: つくる責任 つかう責任	13: 気候変動に 具体的な対策を
持続可能かつ近代的なエネルギーを 生活に取り込もう	持続可能な生産と無駄のない消費生活 を目指そう	気候変動への対策には時間の余裕はあ りません
		
14: 海の豊かさを 守ろう	15: 陸の豊かさも 守ろう	
海洋と海洋資源を守りながら 海を利用しよう	陸上生態系や土地の劣化を守りながら 陸を利用しよう	
		

*「SDGs」クマの輪投げゲーム

そこでSDGsになじんでもらいながら子どもたちに楽しんでもらおうと、5つの目標を掲げたクマの輪投げゲームを用意。子どもたちはもちろん、年配の方々も童心にかえり楽しんでくれました。



*市民のSDGs実施度は…アンケート！

八王子環境フェスティバル来場者に、以下の項目について、実施しているかどうか伺いました。

No.	項目	項目でSDGsに関連していること
1	家庭菜園やグリーンカーテンをして、一時1品でも自給自足をしたり、暑さ対策をしている	エネルギー、陸の豊かさ、気候変動など
2	料理のときは、作りすぎず、多く作らないようにしている	健康、気候変動、飢餓など
3	炒め物などの料理のときは、最初の油を入れすぎないようにしている	健康、陸の豊かさ、海の豊かさなど
4	食べ物を買うときは、産地などを確かめて、地産地消を心がけている	エネルギー、気候変動など
5	冷蔵庫や保管食料の整理をし、買いすぎないようにしている	エネルギー、健康、使う責任など
6	衣類を買うときは、地球に優しいものを選んで選択している	気候変動、使う責任、海の豊かさなど
7	買うときは、SDGsに取り組んでいる商店や生協を利用している	SDGsへの間接参加
8	資源回収のビン・缶・プラは、洗ってから出している	エネルギー、海の豊かさなど
9	生ごみは堆肥にしたりして、可燃ごみを減らして、悪臭を出さないようにしている	エネルギー、気候変動、使う責任など
10	自動車を使わず、歩くか自転車で移動	エネルギー、気候変動、健康など

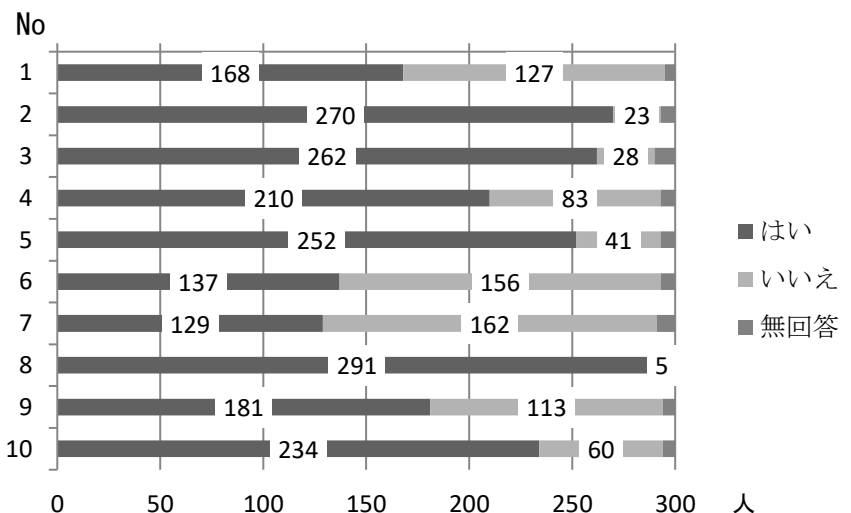
消費生活に関することで市民が工夫できることのうち10項目をあげてみました。SDGs目標に当てはめてみると、多くの項目（行動）で目標17のうちの3つ以上に関わっている様子が見えてきました。

左表は私たちの行動をSDGsの17の目標番号ではなく、その内容を要約した

文言で表示して、そのような行動が市民の皆さんにどのように定着しているのか、委員会のブース来場者のうち300人の方にアンケート調査を実施しました。

No.2、3、5、8を実施している方が300人中250人を超えています。この項目は、料理やリサイクルの分野であり、市民の皆さんの取り組みが根付いていることがわかります。

私たちは、「もったいない」運動が始まったころから資源を意識し、「エシカル消費」として、資源の節約を訴えてきました。「SDGs」が定められたころには、すでに暮らしに取り組んでいる方々が多かったようです。



「はい」が半数の150人を超えていた項目は、他にNo.1、4、9、10です。この項目は、さらに暮らしに向き合い工夫されている方々がいることを表しています。グリーンカーテンや生ごみ処理は、住環境によって対応が違ってくるでしょうが、賃貸や高層にお住まいでも工夫して実施されている方々もいました。地産地消を心がけ、自転車・徒歩で移動を実施している方々も多くて心強くなりました。

やや低かったのはNo.6、7です。それでも100人を超えています。衣類の買い方なども気にか
かけ、更に買い物先のことまでSDGs目線で考えることは、これからの課題です。

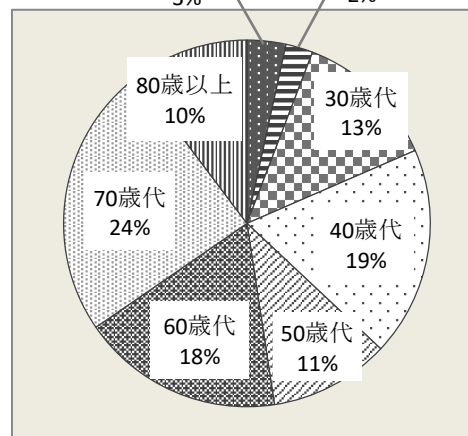
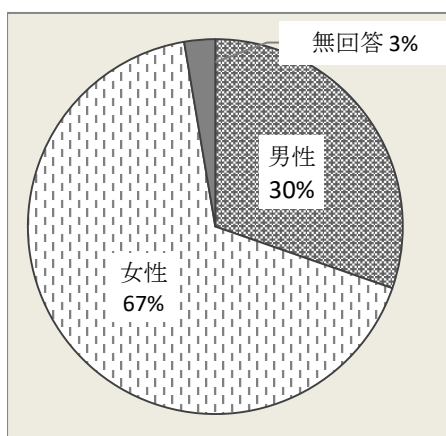
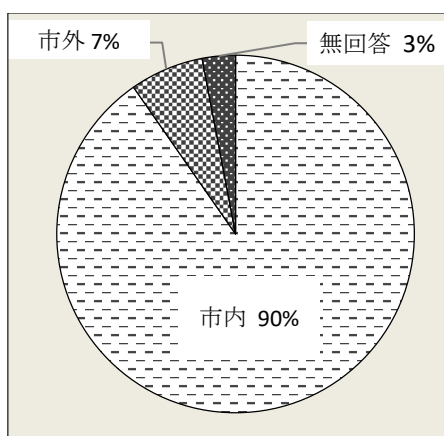
この10項目がすべてではないと私たちのみならず市民の皆さんも考えていると思います。私
たちの身近な消費生活に関わることとしても、視点を変えるといろいろな取り組みを思いつく
ことができるでしょう。それらもいろいろな形でSDGsに関連していることを見つけながら実施
していきましょう。「未来の子どもたちのために持続可能な社会を作っていく」には、私たちの暮
らしをさらに見つめ直していく必要があります。

[アンケート回答者の各割合]

お住まい

性別

年齢



回答者の概要

- *市内の来場者が90%と圧倒的に多かった。
- *女性:男性の比率は、例年並みの概ね2:1でした。
- *輪投げゲーム効果で、子育て中の30歳代、40歳代の方の回答も得られました。
- *例年より70歳代、80歳以上の方が増えていました。



☆ アンケート調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。☆

❀環境フェスティバルに参加した八王子市消費生活啓発推進委員からひとこと❀

雨天等心配されましたが、多くの人出があり、コロナ禍で制限されていた市民の皆さんとの触れ合いを満喫しました。(I)



環境フェス初参加！環境に関心を寄せる人々が訪れていました。八王子市消費生活啓発推進委員の活動頑張ります。(I)

大勢の皆さんが明るい笑顔で参加してくれました。皆さんもフェスティバルを待っていたのです!!(M)

[今後の予定]

◇講演会 (仮) SDG s を日常生活に取り込んでみよう！

日時：11月25日(金) 午後2時～4時

場所：クリエイトホール視聴覚室

講師：「マリカ先生」(環境講師 豊島区 SDG s 特命大使、マジシャン)

✍ SDGs や環境問題を楽しく学べます。

✍ マジックなどエンタメを取り入れた講演なので、

お子様やファミリー層に人気があります。



◇第56回八王子市消費生活フェスティバル

日時：令和5年2月4日 11時～16時

場所：クリエイトホール5階・9階

✍ 今年度は3年ぶりに対面で開催する予定です。

✍ 出展団体と一緒にお待ちしています。

みんな来てねー



<編集後記>

SDGsという言葉が一気に私たちの日常生活にあふれてまいりました。大人も子どももこの言葉は聞きなれた言葉になってまいりました。でも評論家でない私たちはそれをどう日常生活と同調させるかが課題です。目標の2030年はあと8年です。これを長いと感じるか短いと感じるか。人によって大きな差があるのでは？

「コロナ」で明け暮れた2年間でしたが、ようやく平常のほうに動いてまいりました。私たちもこの環境フェスティバルを契機に年後半に向けて活動を行っています。ただ、室内の対面開催となるとさらに配慮が必要と思われます。(A)

アンケートを取りながら、市民の皆さんと目いっぱい聞いて話して過ごしました。SDGsが消費生活に浸透しつつあるようで安心しました。どう展開していくと更に広がることのできるのか暗中模索していますので、もっと聞きたかったです。(k)

編集発行：八王子市消費生活センター・同消費生活啓発推進委員会

八王子市消費生活啓発推進委員会HP

〒192-0082 八王子市東町5-6 クリエイトホール 地下1階

☎042-631-5456

FAX:042-643-0025



*くらしのレポートについて、ご質問・ご意見がありましたら、どうぞお寄せください。